

氏名

ふじた ゆうこ
藤田 優子

所属	健康増進学講座口腔機能発達学分野		
職名	助教		
最終学歴	九州歯科大学大学院歯学研究科	学位	博士（歯学）

専 門 分 野		
教 育 実 績	担当講座名称	単位数 講義時間数 実習時間数 学科・院の別
	成長発育総論	1 単位 1.5 時間 時間 歯学科
	小児歯科学Ⅱ	1 単位 3.0 時間 時間 歯学科
	小児歯科学Ⅱ（実習）	1 単位 時間 32.0 時間 歯学科
	口腔機能発達学Ⅰ	2 単位 3.0 時間 時間 大学院
	小児歯科学Ⅰ（ベーシックコース）	4 単位 時間 120.0 時間 大学院
大学運営における主な役職履歴（過去5年間）		
研 究 分 野		骨・関節疾患、骨形態計測学、口腔機能、歯の発育
研究課題	課題名	(1) 口腔機能の発達と身体の成長発育との関連 (2) 頭蓋・顎顔面の発育障害とその治療法に関する研究 (3) カリエスリスクの評価法に関する研究 (4) 歯の発育と萌出に関する調査研究
	キーワード（5つまで）	成長発育, 骨形態計測, 口腔機能, 齲蝕, マイクロアレイ
	共同研究等の実績	永久歯の先天性欠如に関する総合的研究（鹿児島大学、鶴見大学など）
研究業績 （著書・発表論文等） （最新の5編）	Fujita Y. Comparison of the Knowledge, Attitudes, and Practices Regarding Silver Diamine Fluoride (SDF) between Japanese Dental Students with Experience Using SDF and Those with No Experience Using SDF: A Cross-Sectional Study. Dent J 11(12):282, 2023.	
	Masuda S, Fujita Y, Takeshima T, Fujimoto M. Impact of gender and physical differences on the development of oral functions in children aged 6-17 years: a cross-sectional study. Pediatr Dent J 33(3):182-191, 2023.	
	Fujita Y. Effects of developmental failure of swallowing threshold on obesity and eating behaviors in children aged 5-15 years. Nutrients 14(13):2614, 2022.	
	Fujita Y, Ohno Y, Ohno K, Takeshima T, Maki K. Differences in the factors associated with tongue pressure between children with Class I and Class II malocclusions. BMC Pediatr 28:21(1):1-9, 2021.	
	Ohno K, Fujita Y, Ohno Y, Takeshima T, Maki K. The factors related to decreases in masticatory performance and masticatory function until swallowing using gummy jelly in subjects aged 20-79 years old. J Oral Rehabil 47(7):851-861, 2020.	
産学官連携実績 （主要3件）	小児う蝕発症予測におけるチェアサイドStreptococcus mutans検出キットの有用性評価を目的とした臨床研究（株式会社ジーシー、鶴見大学、ミュンヘン大学）	
産学官連携 可能・希望分野		
取得した実用新案特許等 （主要5件）		
所 属 学 会 （主要5件）	日本小児歯科学会（専門医指導医、英文誌編集委員）、日本障害者歯科学会（認定医）、日本口蓋裂学会、国際歯科研究学会、国際小児歯科学会	